

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 代表者名 代表取締役 笹野 幸明
 コード番号 6466
 上場取引所 東証2部
 本社所在地 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
 問い合わせ先 取締役管理本部長 飯田 明彦
 TEL 06(6416)1150

繰延税金資産の計上及び 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年11月9日に公表した2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日から2019年9月30日まで）を下記の通り修正致しました。また、この修正の一因であります繰延税金資産の計上について併せてお知らせいたします。

金額単位：百万円

1. 業績予想の修正

2019年9月期連結業績予想数値の修正（2018年10月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,200	250	290	260	円 銭 114.41
今回修正予想 (B)	8,239	520	576	714	313.28
増減額 (B-A)	39	270	286	454	-
増減率 (%)	0.5%	108.0%	98.6%	174.8%	-
(ご参考) 前期実績 (2018年9月期)	8,105	544	581	480	211.24

2. 業績予想修正の理由並びに繰延税金資産の計上の内容

当連結会計年度の業績は、売上高82億39百万円、営業利益5億20百万円、経常利益5億76百万円、親会社株主に帰属する当期純利益7億14百万円となる見込みです。

当第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）までは、営業利益、経常利益ともに赤字の報告をしてまいりましたが、売上計画に重大な変更なく推移してきたことから、第4四半期連結会計期間での回復を目論んでいたところ概ね計画通りの売上高となり、それに伴い採算の方も改善する形で黒字決算を迎えることができる見込みとなりました。

採算面では、当連結会計年度は受注損失引当金の繰入超過を前提に予算を組んでいたため、売上目標達成のほかに、変動費の低減とたな卸資産（仕掛品）増減のコントロールが鍵になると考え、前者については、製造予算の徹底管理に取り組み、加えて比較的採算性に優れた原発案件等に恵まれたことあって、変動費は前期に比して1ポイント以上の改善となり採算の向上に寄与しました。

後者については、来期第21期（2019年10月1日から2020年9月30日まで）のはじめに売上計上予定の原発定期検査工事等の原価が積み上がり、当連結会計年度期首のたな卸し残高を超過したことから当期に負担する固定費が減少し、大幅な営業利益、経常利益の改善につながりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、当社グループはこれまで、東日本大震災以降の業績不安定化に伴い、繰延税金資産の全額に対し評価性引当金を引き当て、資産として計上しないこととしてまいりました。しかしようやく来期以降の課税所得の計上について一定の確実性を認めることができる状況となったため、当連結会計年度より繰延税金資産の一部である2億55百万円を計上したことから、当該利益の増加となったものです。

期末配当につきましては、今後、取締役会で議論し、これまでの予想に変更が生じた際には直ちに開示することといたします。